

日本体操競技・器械運動学会（第30回大会）体操競技シンポジウム
「2020 東京五輪に向けての国際体操連盟の課題とこれから」

コーディネーター

遠藤幸一（日本大学商学部）

シンポジスト

渡辺守成（第9代国際体操連盟会長）

富田洋之（国際体操連盟男子体操技術委員）

2016年10月19日、東京で開催された第81回国際体操連盟総会において、日本の渡辺守成氏が会長に選ばれた。これまで選手たちは世界の頂点を勝ち得てきたが、世界の体操を統括する組織のトップに日本人が立つのは初めてのことである。また、男子体操技術委員に立候補した富田洋之氏も再選を果たし、男子体操の方向性を検討する中心的な立場を維持した。こうした重要なポストの獲得は、日本が世界の体操界をリードしていく上で欠かせない。

そこで、本シンポジウムでは、2020年に訪れる地元東京でのオリンピックに向けて、その成功と世界の体操界の発展のために、どのような課題があり、取り組みが必要なのか、渡辺氏、富田氏の置かれている立場を中心に、その現状とこれからについて話をうかがうこととする。

【シンポジスト】

渡辺 守成（わたなべ もりなり／1959年生まれ・福岡県出身）

イオンリテール(株)スポーツ&レジャー事業本部本部長／

国際体操連盟理事／日本体操協会専務理事

戸畑高－東海大学（東海大学在学中にブルガリア国立大に留学）

富田洋之（とみたひろゆき／1980年生まれ・大阪府出身）

順天堂大学スポーツ健康科学部スポーツ科学科助教／

国際体操連盟男子体操競技技術委員／日本体操協会審判委員会委員

洛南高－順天堂大－順天堂大大学院

<オリンピック>2004年アテネ：金1(団体)銀1(平行棒)。

2008年北京：銀1(団体)